

令和元年度 事業報告書

公益財団法人婦人児童問題研究所

公益財団法人婦人児童問題研究所の令和元年度における事業の概要について、次のとおり報告いたします。

I 事業の状況

当財団は、体操・新体操を中心に青少年の健全な育成を目的とし昭和 25 年に設立され、体操教室や新体操教室を中心とした体育関連の教室の運営及び、体育館・体操場・研修施設の運営を行ってきた。令和元年度は、当財団の体操・新体操の会員数は増加し、スポーツ指導や青少年の育成に大いに貢献した。また、新型コロナウイルスの影響により、令和 2 年 1 月中旬以降の合宿及び、令和 2 年 3 月に開催予定であった体操・新体操演技発表会は中止した。

1. 公益目的事業【公1】

(1) 体操教室・新体操教室

ア. 体操教室・新体操教室開催実績

当法人の主要事業でもある体操・新体操教室は青少年の健全な育成を目指すとともに、令和元年度も多くの児童生徒が参加し、上位入賞者も多数輩出した。全国大会等で多くの大会成績優秀者を輩出した。特に神奈川県で行われた全日本ジュニア体操選手権大会には 2 名の選手が出場した。又、藤島杯体操競技大会では、14 名の選手が出場し団体に優勝し個人総合でも優勝した。

主な出場大会：第 33 回 藤島杯体操競技大会 (14 名出場)
2019 西日本ジュニア体操競技選手権大会 (5 名出場)
2019 全日本ジュニア体操競技選手権大会 (2 名出場)
第 14 回 全国ブロック選抜 U-12 体操競技選手権大会 (1 名出場)
第 34 回 九州小学生体操大会 (3 名出場)
第 35 回 福岡県ジュニア体操競技選手権大会 (33 名出場)
第 12 回 福岡県小学生体操競技大会 (23 名出場)
第 12 回 九州スプリング新体操大会 (24 名出場)
第 22 回 ブリヂストンカップジュニア新体操競技会 (12 名出場)
2019 全九州小学生大会福岡県予選大会 (14 名出場)
第 24 回 福岡県ジュニア新体操選手権大会 (10 名出場)
第 34 回 九州小学生新体操大会 (1 名出場)
第 22 回 全日本新体操チャイルド選手権大会 (6 名出場)

教室名	開催回数 (年間)	受講者数 (年間)
体操教室	1096 回	24245 名
新体操教室	1516 回	18303 名

イ. 体操、新体操合宿

当法人が毎年、春休み・夏休み・冬休み等に行っている合宿は、集中的に練習し運動能力を高めることはもとより、日常の家族の生活から離れて集団生活を行うことにより、規律正しい生活や個々の協調性を養い、豊かな人間性をはぐくむことを目標とし、令和元年度も多くの児童生徒が

積極的に参加した。新型コロナウイルスの影響により令和2年1月中旬以降の合宿を中止した。

日 時	教室名・クラス	場 所	参加者数
令和元年7月29日～30日	体操・新体操 (一般クラス)	当法人研修宿泊施設及び 体育館、体操場	86名
令和元年8月16日～18日	体操・新体操 (育成クラス)	当法人研修宿泊施設及び 体育館、体操場	88名
令和元年12月28日～29日	体操・新体操 (一般クラス)	当法人研修宿泊施設及び 体育館、体操場	65名
令和2年1月4日～6日	体操・新体操 (育成クラス)	当法人研修宿泊施設及び 体育館、体操場	97名

ウ. 体操・新体操演技発表会の中止

当法人で毎年3月に行っている体操・新体操の合同演技発表会は新型コロナウイルスの感染拡大防止により中止した。

(2) 施設の貸与

当法人は、スポーツを通じて青少年の健全な育成を図るための研修及び宿泊施設として、令和元年度も多く学校の部活動の合宿や他のスポーツ団体等の研修合宿を受け入れ、今後も地域に根ざしたスポーツ施設として貢献する。

施設利用実績

宿泊施設利用 (年間)		施設の貸与 (年間)	
団体数	利用者数	団体数	利用者数
64 団体	1482 名	26 団体	382 名

(3) 大会の開催

第26回 グリーンカレッジ杯ジュニア新体操大会

本大会は、福岡県のジュニア新体操の普及と発展とともに、平成6年より行われている大会で、福岡県内の各団体から厳正に選ばれたジュニア選手が多数参加し盛大に行われた。令和元年度は福岡市総合体育館で行われた。本大会開催に当たっては、大会運営及び役員の招集、会場の準備、審判員の派遣、表彰式を当法人の職員で行った。

主催：福岡県新体操クラブ連盟、共催：公益財団法人婦人児童問題研究所、後援：福岡市教育委員会

日 時	種目	場 所	団体数	参加者数
令和元年12月22日	新体操	福岡市総合体育館	39 団体	183 名

2. スポーツ指導及び健康教室事業【収2】

(1) ベビー体操教室

幼児と保護者を対象に幼児期の発育発達に合った運動の指導を行い、また保護者においては家庭でも出来る運動や幼児期の体操に関する知識を学んでもらう教室である。令和元年度は順調に推移しており、幼児の発育発達に大いに役立てた。

教室名	開催回数(年間)	受講者数(年間)
ベビー体操教室	48回	611名

(2) アクロバット教室

体操の基本動作からばく転やアクロバット技を専門的に習得する教室であり、アクロバットにも関連するスポーツであるチアリーディングの生徒なども多く受講している。令和元年度は受講者数が順調に増加した。

教室名	開催回数(年間)	受講者数(年間)
アクロバット教室	144回	1659名

(3) ダンス教室

学校教育において必修科目でもあるダンスの基礎から練習し、踊ることの楽しさやコミュニケーション力を高めることを中心に丁寧に指導する教室である。放課後等デイサービスの活動において週一回ダンスの指導を行った。

教室名	開催回数(年間)	受講者数(年間)
ダンス教室	46回	412名

(4) きらきらサロン(ストレッチ教室)

地域住民の健康増進を目的とした事業として中高年齢者の運動不足や生活習慣病の改善を図るために、専門の指導員によるストレッチやリンパマッサージを行い、健康的な生活習慣を身に付くよう指導を行った。マッサージの後は地域の皆様の交流の場所として当施設を活用した。

教室名	開催回数(年間)	受講者数(年間)
ストレッチ教室	48回	194名

(5) 放課後等デイサービス

特別に支援が必要な小中高生を対象に、当法人の体操専門の指導員による体操指導やスポーツ指導を通じて、児童生徒の発育発達を促すとともに、放課後や長期休暇中において療育の場(日常生活動作の指導、集団生活への適応訓練等)を提供し、障害のある児童生徒や保護者への支援に大いに役立てた。

教室名	開催回数(年間)	受講者数(年間)
こどもスポーツひろば	286回	3083名